



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 177
1 February
2008

トピックス

関係機関との防災協力推進

JICA草の根技術協力事業
「アジアNGO防災研修」
第一年次プログラムの
実施

ADRC出版物

『自然災害データ
ブック2006』

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 ひと未来館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.or.jp
http://www.adrc.or.jp

© ADRC 2008

● 関係機関との防災協力推進

JICA草の根技術協力事業「アジアNGO防災研修」第一年次プログラムの実施

アジア防災センター（ADRC）は、国際協力機構（JICA）と協力し、2007年12月3日から14日にかけて、JICA草の根技術協力事業「アジアNGO防災研修」を兵庫県神戸市にて実施しました。本事業は、近年活躍ぶりが目覚ましいアジア地域のローカルNGOネットワーク・ADRRN（アジア防災・災害救援ネットワーク）の防災能力強化およびネットワークの発展を目指し、2007年から2009年にかけて実施されるものです。

本年度は第一年次のプログラムとして、ADRRNに所属するアフガニスタン、バングラデシュ、インド、フィリピン、マレーシア、スリランカのNGOから6名を日本に招き、本邦研修を実施しました。研修員は、日本での研修を通じて、取得した情報や知識を他のADRRNメンバーに伝達するという重要な役目を担っています。



今回の研修では、①災害及び防災についての正しい知識を身につける、②習得した知識を用いて、同僚およびADRRNのメンバーに対して防災研修が行える、③習得した知識をどのように活用していくか具体的に示したドラフトアクションプランが作成される、ことを目標とし実施されました。

本研修は、災害知識の向上、防災教育および防災意識の向上のためのツールの紹介、日本のNGOによる防災活動など、具体的かつ実践的な内容の講義から構成されました。また、災害後被災地に入って活動することの多いNGOスタッフのためのストレスマネジメント、被災者のこころのケアの問題や災害時におけるコミュニティラジオの有効性などについても学習しました。



(続き)

研修の最終日は、研修員が各国で実施している防災関連プロジェクトに組み込んだ形のドラフトアクションプランを各自発表しました。どのアクションプランも、本研修で得た知識やツールが上手く反映された内容となっていました。

また、本研修では、研修員の防災能力向上だけではなく、ADRRNメンバーであるNGO同士が実際に顔を合わせ、2週間という期間を共に過ごすことにより、各団体の活動や取り組みについて知り合うよい機会となりました。今後のADRRNの発展のためには、メンバーであるNGO間の協力が必要不可欠であることから、このような研修の機会を設けることは、更なるネットワークの発展に寄与するものと期待されています。

第2年次のプログラムでは、今回の研修員がトレーナー役となり、研修で得た防災知識等について、さらに他のADRRNメンバーに伝達する予定となっています。

当研修実施にあたり、快く訪問等を受入れていただきました各関係機関の皆様に、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

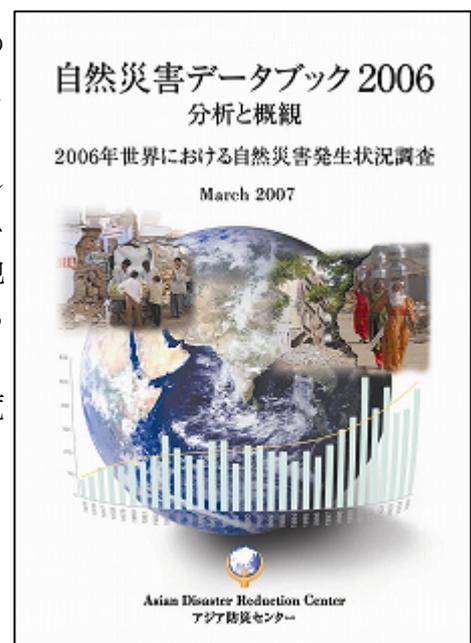
● ADRC出版物**『自然災害データブック2006』**

ADRCは、2006年に発生した自然災害のデータを集め、その傾向を分析した『自然災害データブック2006』（日本語および英語版）を発行しました。

2006年もまた世界で多くの災害が発生した年となりました。アジア地域では中国、インドで発生した洪水、インドネシアで発生した地震・津波、フィリピンで発生した台風・地すべりなどにより、多くの人命や財産に深刻な被害をもたらしました。

2006年のデータブックにつきましては、ADRCのHPでご覧いただけます。

http://web.adrc.or.jp/publications/databook/databook_2006_jpn/jpn.html

**問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.or.jp までEメールをお寄せください。